

# JAAS News 第131号をお届けします

一般社団法人シニア社会学会・事務局 2010年5月28日

< もくじ >		ページ
1. 一般社団法人シニア社会学会第1回総会報告		1
2. 第9回大会報告		2
3. 会員による活動事例・研究発表		2
4. 「見える化」プロジェクト ” V-JAAS ” 報告		3
5. シニア社会学会ホームページが新しくなりました		3
6. 研究会開催のお知らせ		4
7. 公開講座のお知らせ		4

## 1. 一般社団法人シニア社会学会 第1回総会報告

2010年度定時総会・大会は5月22日(土)、お茶の水女子大学本館306号室にて、定刻どおり開催されました。

定足数123名に対して、出席者71名、委任状提出者数97名、合計168名で総会が有効に成立している旨司会から報告があり、大島洋理事を議長に選出、総会の審議に入りました。

総会議事は、第1号議案(2009年度活動報告)、第2号議案(2009年度決算報告)を都築賢二事務局長より説明、一括審議がなされ、満場一致で承認されました。

次いで、都築事務局長より任意団体としてのシニア社会学会の解散及び一般社団法人への移行についての特別議案の提出並びに説明がなされ、審議の結果満場一致で承認されました。これにより、任意団体としてのシニア社会学会の総会は終了しました。

引き続き一般社団法人シニア社会学会の第1回定時総会が開催されました。総会成立に関しては、移行説明どおり、会員、資産を全て引き継いで運営することの決議により、定数についてもそのまま準用し、有効に成立していることが報告され、一般社団法人としての総会が大島議長の議事進行により、スタートしました。

都築事務局長から第3号議案(2010年度活動計画案)、第4号議案(2010年度予算案)の提出及び説明後審議に移り、満場一致で承認されました。最後に第5号議案(2010年度理事・監事等役員選任案)の提案がなされ、これも満場一致で承認されました。ここに新生・一般社団法人シニア社会学会が新たな船出をすることとなりました。

臨時理事会の結果、会長に袖井孝子氏、副会長に清家篤氏、高畑敬一氏、濱口晴彦氏、運営委員長に川村匡由氏、事務局長に都築賢二氏が選任されました。直ちに出席している理事・監事・運営委員・顧問が紹介され、引き続き袖井会長から「シニア社会学会創立10年に当たる本年、社会の変動に呼応して当学会も変わらねばならない、一般社団法人としての再出発は重い意味があり、新しい公共を目指し、初心に帰ってage-free社会の実現に邁進したい」と力強い挨拶がありました。



袖井孝子会長



清家篤副会長



高畑敬一副会長



濱口晴彦副会長

## 2. 第9回大会報告

大会は「新生シニア社会学会が目指すもの」をテーマとして、午前の部は2名の会員による活動事例・研究報告と森やす子理事から「見える化」プロジェクト“V-JAAS”報告がなされました。

午後の部は、袖井孝子会長による基調講演「新生シニア社会学会が目指すもの」、パネルディスカッション「地域に暮らし、地域を創る」のテーマで活発な討議・質疑がなされ、大会は盛況の内に閉会しました。そのあと場所を変えて懇親交流パーティが和やかに行われました。

(大会及び懇親パーティについては、次号以下でご紹介します。)

## 3. 会員による活動事例・研究発表

(1)「子供たちの夢を育む組織運営について」～老若共同参画社会の一翼を担う活動事例から～  
石塚光政氏(当学会会員、茨城県生涯学習インストラクターの会会長、財日本宇宙少年団つくば分団長)

子供たちの健やかな成長のためには家庭での安らぎや組織活動を通じた社会性が必要である。とくに社会性は多くの人との関わりによって身に着くとの考えに基づき、組織運営を実践している。

子供たちは科学的な観察や思考などに興味や関心を持ち、宇宙に関する科学技術、宇宙活動は子供たちに感動を与える。関連の専門家やJAXAの研究員が在籍する分団活動と、地域の生涯学習インストラクターが連携する企画によって地域に密着した子供たちの組織活動を展開している。家庭との連携も持つために、保護者の協力や見学(参加)も積極的に取り入れている。主な活動として、①水ロケット製作・打ち上げ、②モデルロケット製作・打ち上げ(火薬使用)、③飛行機の工作と飛行競技、④天体観測、⑤ソーラークッキング、⑥宇宙関連施設の見学、⑦宇宙少年団主催行事に参加・協力、⑧宇宙航空研究開発機構(JAXA)特別公開行事に協力、⑨宇宙少年団他分団との交流活動、⑩地域社会の行事に参加、などを行っている。

子供たちの興味や関心を引く「宇宙の魅力」を軸として生涯学習インストラクター(シニア)が展開する活動の実践は、老若共同参画社会の一翼を担うものと考えている。

(2)「地域の埋蔵金“シニア”の発掘実証実験」～コミュニティビジネス参加の条件～  
堀池喜一郎氏(当学会理事、内閣官房地域活性化伝道師、元シニアSOHO三鷹代表)

【研究の狙い】元気な高齢者(シニア)の地域参加が活発でない現状に対し、シニアの地域参加支援を目的とした「講座講義」と「起業支援」のスキームを設計し、実証実験を行う。

【研究の内容】シニアにとって「自己実現(自分発信)」は一つの重要なキーワードであるが、自身の個性発揮に不慣れな現状と、近年の都会に見られる“きずな”の希薄化が解決すべき障害要因である。解決の手段として今後のインフラ環境要因である「発信のICT」利用や普及の促進が研究内容である。具体的な方法として、「講習」と「フォロー」の実践を2009年6月より11ヶ月行った。

実践の骨子は、①「シニア」「子育ての終わった女性」に他世代を含む多数を講座およびフォローで支援する。②講座の結果、全員が「ブログ発信」を行い「各人の活動構想」を発表する。③どのような想定内の問題、想定外の問題があったか、を考察する。④高齢社会とシニアの地域参加の関連研究会に参加し、海外、全国の事例・状況を把握した。

【研究の成果と課題】持続型地域貢献活動CB(コミュニケーションビジネス)へのシニアの参加は可能であり、高齢社会への貢献が大きく期待される。11ヶ月の成果と課題は以下の通り。

成果は、①講座は4回実施し50人受講させた。フォローの7回の「ブログ村」には75人が参加。②ブログ発信はほぼ全員が行い、IT活用講座は実施ごとに改良され、成功するノウハウを得た。③成功条件は「社会メディアSNS(ソーシャルネットワークシステム)の活用」「IT学習支援の体制」「緩いネットワークでの励まし」

課題は、①「発信できて実活動のスタートは遅れる」「実活動支援の地域体制」がある。②世界的に新しいシニアの働き方研究「Aging in Place」（スマートエイジング）および、認知症予防の研究が重要な要件と判明。この観点に立脚したシニアの地域参加推進が必要である。

## **4. 「見える化」プロジェクト “V-JAAS” 報告**

「見える化」プロジェクト “V-JAAS” の“V” は、Visualization の“V” です。

“V-JAAS” チームは、「研究活動」「交流活動」「事業活動」のうち、事業活動を重点的に担い、次のことを目指します。

### **・“見える” ことをめざします**

会員（個人・法人・団体）そして社会に対して、シニア社会学会は“何をしている所”か、“何をめざしているのか”を見えるようにします。そのため、2010年5月、ホームページをリニューアルしました。

### **・会員同士の情報交換を活性化します**

情報の発信、そして皆で話し合える場として、「しにあ村」を開村します。ブログを活用した、ネット上に情報集約の場です。ここで、会員の皆さん「できること」「やりたいこと」を教えてください。

“ブログはまだあ〜”という方には「ブログ講座」を開催します。是非ご参加ください。

### **・事業化を推進します**

活動計画にあるように、会員のスキルとキャリアという資源を繋げることで事業化へ向け企画と実施を推進します。

会員の情報交換の場「しにあ村」が有効に機能し、つながりと会員（個人・団体・法人）のコラボレーションから、新しい事業（ビジネス）・活動が生まれるよう、V-JAASは軽やかに行動します。

## **5. 新生シニア社会学会のホームページが新しくなりました**

ホームページが新生シニア社会学会にふさわしいさわやかなイメージに一新されました。

過日開催されました総会の寸描がホームページで公開されております。総会に出席された方、当日止むを得ず欠席された方はぜひご覧下さい。 URL: <http://www.jaas.jp/>

今後も学会の活動報告や、連続講座開催のお知らせなど、情報の共有化の一貫として常に更新をしておりますので、ぜひ、ご覧下さい。

## **6. 研究会開催のご案内**

### **社会保障研究会**

#### **6月（第42回）の研究会について**

日時：6月24日（木）18:00～20:00

場所：高齢者生活協同組合会議室 豊島区池袋3-1-2 光文社ビル6F

最寄り駅：JR「池袋駅」西口 徒歩10分、有楽町線・副都心線「要町駅」5番出口 徒歩3分

報告者：丸山 桂（成蹊大学経済学部 准教授）

テーマ：「子ども手当てについて」

#### **7月（第43回）の研究会について**

日時：7月15日（木）18:00～20:00

場所：高齢者生活協同組合会議室 豊島区池袋3-1-2 光文社ビル6F

報告者：辻 哲夫（東京大学高齢社会総合研究機構 教授）

テーマ：「迫りくる超高齢社会への挑戦」

なお、開催場所は6月、7月ともに池袋会場となります。お問い合わせ、申込は事務局武者宛。

## 第2回「21世紀の倫理」研究会

濱口研究会第5シリーズ「21世紀の倫理」研究会の第2回は、下記の通り開催されます。

なお、開催日時・場所が従来の第3金曜日、高田牧舎2階会議室での開催が事情により今後変更になりますので、ご注意ください。

日時：6月15日(火) 17:00~19:00

場所：早稲田大学国際会議場4階第7共同研究室

テーマ：『君たちはどう生きるか』を読んで、大木壯次氏、宮原亮氏のお二人からの  
発表と質疑応答

その他：①参加者は、吉野源三郎著『君たちはどう生きるか』(岩波文庫)をご持参下さい。

②研究会参加費として300円を徴収させていただきます。

お問い合わせ等は、事務局島村までお願い致します。

## 7. 「生と死の人間学—少子高齢社会を生きる—」公開講座のお知らせ

2010年度東京女子大学学会主催公開連続講演会「生と死の人間学—少子高齢社会を生きる—」が、下記の要項にて開催されますので、皆様にご案内いたします。

第1回 6月1日(火) 14:55~16:25 少子高齢社会の課題 講師 山田昌弘

第2回 6月7日(月) 14:55~16:25 障害と新しい「自立」のかたち 講師 星野良司

第3回 6月17日(木) 14:55~16:25 子どもに命の大切さをどう伝えるか 講師 袖井孝子

第4回 6月24日(木) 14:55~16:25 お墓からみた家族論 講師 井上治代

第5回 7月2日(金) 14:55~16:25 生と死の人間学 講師 副田義也

会場 東京女子大学 最寄り駅 JR 吉祥寺駅北口から関東バス「西荻窪駅」行き利用約10分、

または西荻窪駅から「吉祥寺駅」行き利用約5分、それぞれ「東京女子大前」下車。

事前申込みは不要。当日直接会場にお越し下さい。聴講は無料。教室は当日正門に掲示あり。

一般社団法人シニア社会学会・事務局 (月・水・金オープン)  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階  
電話&FAX：(03) 5778-4728  
E-mail：[jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp) URL：<http://www.jaas.jp/>